

コースNo.37 いろんな時代が語りかける目達原上峰を巡る

コース作成 原岡

起点 JR吉野ヶ里公園駅(有料駐車場は北口にあり)  
距離 6.1キロ  
見所 古代ロマンから戦中戦後、現代へと幅広い見所  
注意点 トイレが少ない。途中の商業施設を利用下さい。  
歩道なしの箇所あり。

コース概略 ①吉野ヶ里公園駅(トイレを済ませて)



②本戦橋

③大刀洗航空隊目達原教育隊跡(特攻隊の悲しい歴史の碑)

④自衛隊南壁の子供達の壁画(長い壁も癒やされながら歩けます)

⑤上峰町標識を左に道なり

⑥右手に堤が見えたら手前を右

⑦結構見応えがある貯水池

⑧すぐ先左へ

⑨都紀女加(つきめか)王墓

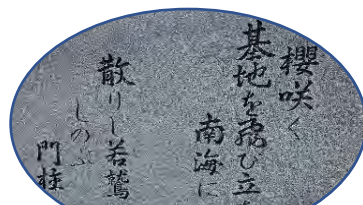
⑩公園

⑪目達原宿

⑫旧民家の鏝絵を保存した武田薬局壁の『鍾馗さん』

⑬祇園社

⑭ゴールへ



③のすぐ横の碑



⑨都紀女加王墓の説明碑

\*⑨  
現地説明板  
より転記

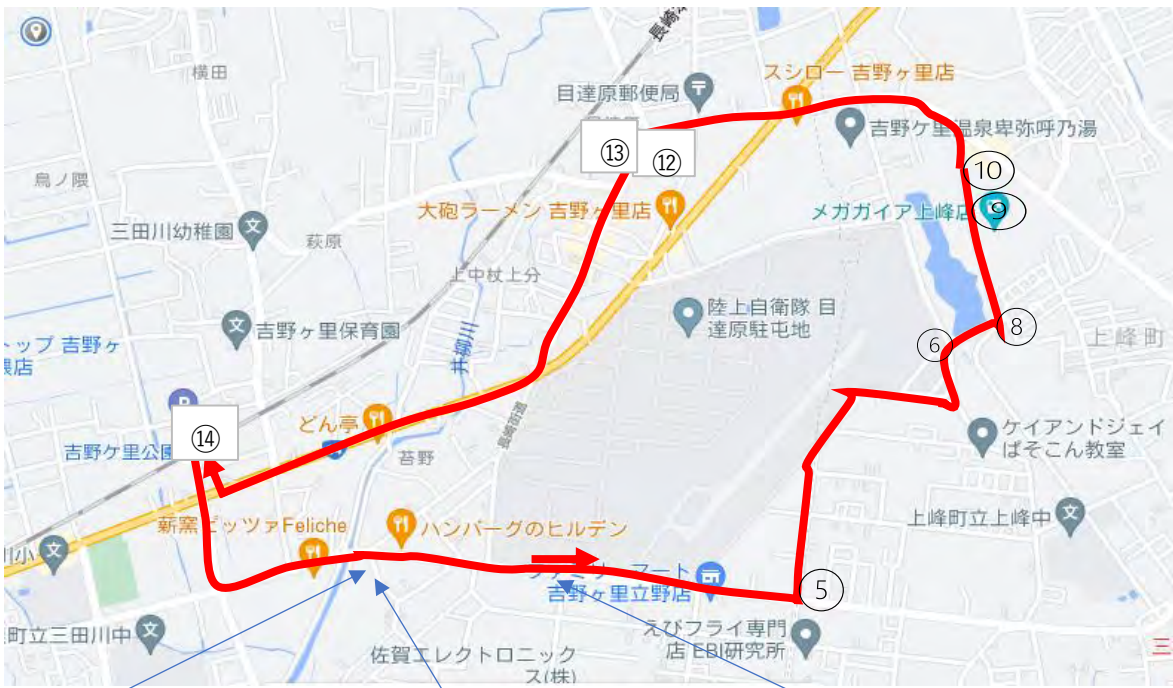
5世紀、15代応神天皇の尊孫にあたる都紀女加を筑紫米多国奴に任命され、都紀女加王を始祖とする代々の一族が上峰町から吉野ヶ里町にまたがる一帯を治めていた。

目達原(米多原)一帯には、米多国造の残した墳墓だと考えられる大小の古墳が点在し、目達原古墳群として知られていた。

昭和17年目達原一帯に陸軍飛行場が建設されることになり、昭和17年から翌年にかけて発掘調査が行われ、昭和18年に古墳群の前方後円墳の中で一番古い形式の「上のびゅう塚」が宮内省によって、日本古代の皇族「初代米多国造都紀女加王墓」に治定され、宮内省の管理のもとに保存されることになった。

都紀女加王の墓は、三養基郡上峰町防所の南北に延びる細長い丘陵上の標高25メートルに位置し、主軸を東西に前方を西に向け49メートル、後円部経30メートル、高さ3メートル、墳丘周囲に周溝を巡らし墳丘表面からは、埴輪、葺石が見つかった。その他の古墳のうち主なもの5基が都紀女加王墓の北に隣接する土地に実際古墳の7分の1の大きさで墳丘が造られ改装された。これが今日町の古墳公園となっている。

昭和32年4月には皇女清宮が都紀女加王御陵を参詣されている。



②本線橋の信号



③教育隊跡



④子供達の壁画



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨奥に宮内庁の看板



⑩



吉野ヶ里温泉の前を通る



⑪



⑫武田薬局の鐘馗さん



⑬



国道34号線渡って右へ



直進後右へ